

コード	名称	区分	コード	名称
事業名 147-1	狂犬病予防事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本 施策	14 感染症などの流行、拡大を防ぎ、食の安全を確保する	目	01	保健衛生総務費
		細目	239	保健衛生事務経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	03	狂犬病予防経費
担当部課	コード 100100 名称 人権生活環境部市民生活課	担当者 氏名	三枝澄生	連絡先 22 - 9638 (内線) 2515

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市内の犬飼養者及びその付近住民	※対象件数
成果(どうする)	狂犬病の発生拡大の防止	
根拠法令・要綱等	狂犬病予防法	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> 三重県獣医師会へ狂犬病予防集合注射を委託し、市内を巡って実施 獣医師への生涯登録及び狂犬病予防注射済票発行業務の委託 広報誌等による生涯登録及び予防注射接種の啓発 	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
集合注射実施箇所数	目標		104	104	105	105
	実績		104	105		
委託獣医師(病院)数	目標		13	13	13	13
	実績		13	13		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
狂犬病予防注射接種率		接種率が高いほど狂犬病感染のリスクが低くなる	%	目標	70	目標	75
				実績	70	実績	70
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計(A)	7,369	7,754	7,738	7,738
Aの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	7,369	7,754	7,738	7,738
一般財源	0	0	0	0
事業投入人件費(B)	0.6人 4,320	0.6人 4,320	0.6人 4,320	0.6人 4,320
フルコスト(A)+(B)	11,689	12,074	12,058	12,058

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律で実施が義務付けられている事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事務事業	
有効性	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対称者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	生涯登録及び予防注射接種の啓発を強化する。
昨年度の取組状況	<p>【状況】 計画のとおり進んでいる</p> <p>【詳細】</p> <p>ペットの飼養に関する啓発にあわせ、生涯登録の呼びかけを行った。集合注射会場を新たに1箇所追加し、利用者の利便性の向上を図った。</p>

今後の方向性(Action)

評価者氏名(担当課長)	奥永悦子
事業の方向性	<p>【方向性】 現状維持</p> <p>【理由】</p> <p>犬の登録管理や狂犬病予防注射は法令に定められているため、継続して行っていく必要がある。未登録者、予防注射未接種者への啓発と督促を強化する必要がある。</p>
現時点における課題、その他	狂犬病予防注射接種率100パーセントであるべきだが、死亡や転出の届出がされていないと思われるものがあることや、一部ではあるが、飼い主のモラルの低下などにより、100パーセントに至っていない。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成22年度から、犬の登録管理や狂犬病予防注射を受けさせる義務を飼い主に認識してもらうため、広報紙や行政情報番組などにより啓発を強化する。狂犬病予防注射を受けさせていない飼い主に対して接種を督促し、飼い主の義務について啓発を強化する。